自治労きょうと

毎月1日、11日、21日発行

8/1・11
2002
第417号

発行所・自治労京都府本部・〒604―0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075―252―5932・FAX.075―231―4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩朗
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@po.media-net.ne.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/

2002人勤闘争

生活防衛できる水準を要求

マイナス勧告阻止へ取り組み強化

▲第１次中央行動の参加者は、人事院前の交渉支援行動でシュプレヒコールをあげた

厳しい春闘結果の下で公務員連絡会は、八月の人事院勧告に向けて六月十九日に政府・人事院に要求書を提出。七月十二日には、第一次中央行動を実施するとともに人事院勤務条件局長と、十八日には人事院職員団体局長と交渉を行った。

人事院は「現在、民間実態調査の集計途中だが厳しい結果が予想される。俸給だけでなく諸手当についても厳しい状況を想定した対応を考えざるをえない」との考え方を示し、一時金については三月期分を六月、十二月に振り分けて支給する方向で検討していると回答した。

公務員連絡会は「生活防衛の立場での努力と勧告水準の早期提示」「マイナス勧告になった場合でも不利益不遡及の原則と生活が破綻するような精算方法は認められない」「俸給月額も一時金も削減とならないこと」「俸給表、諸手当の配分比は大きく変更すべきではない」と強く求めた。

公務員連絡会は七月三十日に第二次全国統一行動（時間外集会）と中央行動、八月五日に第三次中央行動を実施、八月上旬の勧告に向けての取り組みを強める。

実質的な男女平等を推進

男女参画推進委 労使で状況把握、差別是正へ

▲自治労本部は、男女平等産別統一闘争の推進に向けて、内閣府、総務省、厚生労働省などに対し、男女平等参画社会の実現を求める申し入れを行った

男女平等に関する要求・交渉を進めていくためには、労使が共通に客観的な状況を示すデータを把握することが必要だ。

そこで府本部男女参画推進委員会では、各単組職場の状況をワークシートで調査することに取り組んでいる。調査項目は、各職場の男女比率・平均年齢・平均勤続年数・男女別採用実績・配置・昇進・昇格・管理職の男女比率・継続就業率などに分かれており、その集約結果に基づいて女性比率が極端に低い職場や役職分布に男女差が大きい部門があれば、その理由を分析し原因を明らかにしなければならない。

「女性は家族的責任を負うもの」「女性はそんなに働かない」などという女性を低く評価する風潮が女性の可能性を阻み、労働者としての地位や労働条件の格差を生み出してきた背景を踏まえ、府本部は改正均等法で奨励されているポジティブ・アクション（積極的な特別措置）を労使ともに取り入れ、実質的な平等に向けた取り組みを進めていく方針だ。

福祉集会 専門性と質の向上図ろう 民営化の流れ阻止へ

二〇〇二年度自治労福祉集会が六月二十七日から三日間、函館市で開かれた。集会には保育、生活保護、障害者施策、介護保険など福祉の各分野で働く約六百人の仲間が結集、京都府本部からも五人が参加した。

今年の福祉集会では、主に福祉分野の労働者の専門性をいかにして高め、その質の向上を図り、小泉行政改革の民営化の動きを跳ね返すかということが話し合われた。

本来の福祉の分野は金儲けの対象にしてはならない。効率化の名のもとに民営化されれば、労働者の研修などには金を使わなくなり、労働の質が低下し、そのことが労働者の待遇低下をもたらす。この悪循環を断ち切るためには、自治体労働者が住民と手を組んで民営化の流れを阻止するとともに、自ら質の向上を図り、その専門性をアピールしなければならない。

福祉の現場で働く労働者を決定権のない単なる手足としないよう、府本部社会福祉評議会は取り組んでいく。

女性部七夕交流会

女性が参画し要求実現を

本部政策局 中島圭子さん 「発想の転換も」アドバイス

▲講師の中島圭子政策局次長（右上）とアドバイスを受ける参加者

府本部女性部は七月六日、ぱるるプラザ京都で第十三回七夕交流会を開いた。講師に自治労本部政策局次長の中島圭子さんを迎えた今年の交流会には三十人が参加した。

「ポジティブ・アクションをやってみよう」と題する講演では、事実上の男女平等を達成するための積極的な差別是正策について学習、男女平等の職場づくりのための要求ガイドブック「レッツステップアップ」のワークシートを使い、職場の男女平等や女性参画の実態を客観的にチェックし、職場要求へとつなげるアドバイスを受けた。

中島さんは東京都本部女性部長や連合東京女性委員会事務局長を歴任した経験を交えながら、民間職場の女性の支援策を公務員が考えていくことや、今までの枠組みから脱却して発想の転換を図ることも提案された。

そして「組合は男性中心のため、男女平等の課題が積み残されている。女性が参画して粛々と進めてほしい。やり始めたら引かないで毎年やり続けることが大切」と締めくくられた。

講演後の交流会では、単組の取り組み報告などの情報交換が行われた。

双思交

梅雨明けもしていないのに台風六号、七号と相次いでの日本上陸となり、各地にさまざまな被害を出した。七月に複数の台風が上陸したのは、この半世紀で一九七二年、九三年についで三度目で、異常気象の前触れのような報道がされている。とりわけ、九三年の異常冷夏と九四年の記録的猛暑まで引き合いに出されている▼日本では梅雨があり、熱い夏を経て実りの秋を迎えるわけで、こうした営みを考えると農耕民族として培われてきた日本の文化を改めて感じることができる。また、今日の異常気象は、地球規模の環境破壊が原因と言われているが、それは温暖化防止対策など私たちの政策課題であり解決は可能だ▼一方、今年の人事院勧告は「マイナス勧告」との予想がされ、まさに日本経済の異常気象が私たちの賃金をも直撃しようとしている。これこそ自民党を中心とする政府の失政によるもので、小泉改革の失敗も含め原因は明らかだ。私たちの生活を立て直すためにも、早急に日本経済に根本治療を施し、この悪循環の解決を図らなければならない。

「失職」注意！

地方公務員は、交通事故を起こすと失職する可能性があります。だから、賠償するだけの保険・共済では決して充分とは言えません。自治労の自動車共済は、失職を防ぐための活動を行っています。このような活動を行うのは自治労の自動車共済だけです。

自治労の自動車共済

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

男女共同参画週間で市民や各種団体と交流

京田辺市職員組合女性部は、昨年から市民や各種団体との交流事業として、京たなべ男女共同参画週間実行委員会へ実行委員として参画し、「ふれあい夢フェスタ」の体験コーナーでフラワーアレンジメントを実施しています。

準備段階では「ここにはお花を作って飾りましょう」「遠くからでも見えるかな」と、わくわくしながら看板を作りました。

六月二十九日の当日は、参加された方がバラやひまわりが入ったかわいいバスケットを見て「どちらにしようかな？」と迷われる様子に、「どちらもかわいいですね」と会話を交わしながら、四十三人の参加者とともに楽しいひとときを過ごすことができました。

これからも女性部としての活動を広げ、日ごろ交流する機会が少ない市民や団体の方との交流事業を進めていきたいと思っています。

（京田辺市職女性部）

七月三十一日〜八月二日／近畿地連スポーツ大会（太陽が丘ほか）▼一日／全国学校集会（鹿児島）〜三日▼二日／市町村合併丹後ブロック研究会▼三日／原水禁世界大会広島大会〜五日・長崎大会七〜九日▼七日／財政推進会議／町村評幹事会▼八日／合併シンポジウム実行委員会（大宮町）▼九日／青年部常任委員会▼十四日／執行委員会▼二十日／社福評幹事会▼二十一日／さがの労組名誉棄損事件判決（京都地裁）／自治労大会事前会議〜二十二日（山口）▼二十三日／自治労第七十三回定期大会（山口）〜二十五日▼二十八日／執行委員会

今回は八月一日、十一日号の合併号とさせていただきます。

2002京都保育集会
参加者募集中

と　き　2002年9月7日（土）午後1時30分

ところ　福知山市民会館

講　演　「子育ち支援を考える」
講師　松尾純代さん
（大阪市立子育ていろいろ相談センター）

「脳卒中は冬に多い」というイメージがありますが、実は夏に気をつけなければいけません。

脳卒中は予防できる？

脳卒中は、脳の血管がつまる脳梗塞、脳の血管が破れて出血する脳出血、脳の表面を走る動脈のこぶ（動脈瘤）が破れて、脳を包んでいるくも膜のすき間に出血するくも膜下出血の総称です。

予防には、高血圧や糖尿病にならないように注意する、タバコを止める、大酒を飲まないことが重要です。

逃すな前触れ！早めの受診を！

脳卒中の前触れは

脳梗塞の前触れとして、一過性脳虚血性発作があり、その症状は五〜十五分以内に治ってしまうことが多いのです。その具体的な症状は、片方の手と足に力が入らなくなる、体の半分（顔を含む）がしびれる、ろれつがまわらなくなる、めまいがする、言葉が出なくなる、相手の言うことが理解できないなどがあります。

脳卒中になったら

たとえ夜中であろうと休日であろうと、すぐに救急車を呼んで専門医のいる病院へ搬送してもらうことが大切です。いざという時にどの病院に行ったらよいか、日頃から主治医に相談しておくとよいでしょう。

どの程度回復するか

残念ながら、発症後一年以内に約二割の方が亡くなられますが、麻痺された方の約七割は身の回りのことができるようになります。回復には個人差がありますが、普通、最初の数カ月間で著しく、その後、半年くらいまで緩やかな回復が続きます。

これを機に脳卒中に関心を持ち、知識を増やし、発症初期の症状が軽いときに放置してしまう事がないように、日頃のちょっとしたことに気をつけましょう！

第29回
地方自治研究全国集会 開催要綱
2002年10月29日〜31日

第1日目（10月29日　全日）
全体集会（アスティとくしま）

10：00　開　会
- ●主催者あいさつ
- ●来賓あいさつ
- ●助言者代表あいさつ
- ●基調提起
- ●記念講演「質の高い公共サービス」ハンス・エンゲルベルツ　PSI書記長（国際公務労連）

昼食休憩
- ●自治研賞表彰
- ●シンポジウム「新しい公共サービスの創造」
- ●地元研究報告「水源地保全と公共サービスの広域的研究」

16：00　閉　会

	第2日目（10月30日　全日）統合分科会・テーマ別分科会			第3日目（10月31日　午前）統合分科会・テーマ別分科会
	9:30（開会）	昼休み（分科会により多少異なります）		9:30（開会）　12:00
I　わがまちの明日を考える 郷土文化会館（700人）	パネルディスカッション「それぞれの自治体改革ー首長・職員・市民の立場からー」		Iパネルディスカッション 「みずからわがまちの明日を拓く」「地方自治のシステム改革にむけて」 トークイン　各先着50名以内（フリー参加方式） ☆地方税財政　☆行政評価 ☆情報政策　☆政策法務 ☆パネルディスカッションと同時に開催	パネルディスカッション「市町村合併と自治体の選択」
II　地域における市民福祉の展開 郷土文化会館（400人）	基調講演「福祉のパラダイム転換と地域福祉の実践」		IIパネルディスカッション「市民参加の地域福祉計画策定に向けて」	実践報告①（介護関係） 実践報告②（地域通貨）
III　地域再生とまちづくり 教育会館（400人）	パネルディスカッション「まちづくりと公共サービス」		III-1　テーマ別分科会　都市生活 III-2　テーマ別分科会　農山漁村生活 III-3　テーマ別分科会　地域再生型しごと（福祉・労働）と産業	サロン・トーク「21世紀のふるさと」を創る3つのテーマ別分科会の議論を寄せて…。
IV　人権文化のまちづくり 文化センター（350人）	パネルディスカッション「分権時代の人権・平和・男女平等条例づくり」		IV-1　テーマ別分科会　平和	同　左
			IV-2　テーマ別分科会　部落解放・多文化共生・人権	同　左
			IV-3　テーマ別分科会　教育・文化・スポーツ	同　左
			IV-4　テーマ別分科会　男女平等	同　左
V　循環自治体と環境共生のまちづくり 労福会館（400人）	パネルディスカッション「自治体廃棄物政策の100年、これからの100年」		V-1　テーマ別分科会　公共事業と環境	同　左
			V-2　テーマ別分科会　温暖化防止・自然エネルギー・脱原発	同　左

徳島県実行委企画

フィールドワーク　徳島県内10コース・有料

①吉野川第十堰と河口干潟　住民運動の視点から	（石井町日帰り）
②吉野川第十堰と河口干潟　環境の視点から	（石井町日帰り）
③部落の歴史　伝統文化芸能の視点から	（徳島市日帰り）
④なると金時とベートーベンの第九	（鳴門市日帰り）
⑤藍染め体験と藍の歴史	（藍住町日帰り）
⑥地域通貨「あわー」	（阿波町日帰り）
⑦町並み保存と案内ボランティア	（脇町日帰り）
⑧ラフティングと過疎の共存　子泣きじじいの里	（山城町1泊2日）
⑨彩農業　ごみ分別　山村の挑戦	（上勝町1泊2日）
⑩海がめ保護と創作家の移住する町	（日和佐町1泊2日）

劇団四季ミュージカル　オペラ座の怪人　第4期公演
先行予約チケットあっせん中
2003年1月11日（土）午後5時40分S席11,550円
2003年1月17日（金）午後6時40分S席11,550円
いずれも先着10名分を受け付けます。
申し込みは単組または府本部へ
8月19日締切